第43期（2020年3月期）
ビジネスレポート
2019年4月1日 ▸▸▸ 2020年3月31日

株式会社エー・アンド・デイ
東京証券取引所市場第一部上場　証券コード：7745

A&D Topics A&Dトピックス

Topic1 Bluetooth内蔵血圧計「UA-651BLE」を中国河南省の医療施設に寄贈しました

当社製品であるBluetooth内蔵血圧計「UA-651BLE」50台が河南省の病院など約10施設に寄贈され、2020年4月15日よりこの血圧計による測定が開始されています。寄付は中華人民共和国の河南省人民医院の主導により、当社100%出資子会社である愛安徳技研貿易(上海)有限公司を通じて行われました。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、特に生活習慣病患者が感染した場合に重症化リスクの高いことが報道されています。このたびの寄贈により、血圧モニタリングへの意識が高まり、長期的に血圧管理レベルが改善され、多くの高血圧患者の健康管理に貢献することが期待されています。

河南省の病院からの感謝状

【エー・アンド・デイ　デジタル血圧計「UA-651BLE」】
・Bluetooth通信にかかる電力を従来の1/3程度まで抑えることが可能
・測定した血圧データは対応アプリで簡単にデータ管理が行える

Topic2 本体とカフが一体型（ホースレス）の上腕式血圧計「UA-1200BLE」発売！

当社は本体とカフをつなぐホースのない、ホースレス上腕式血圧計「UA-1200BLE」を2020年3月25日に発売しました。ホースレスのため、上腕への装着、測定、収納に便利なだけではなく、旅行や出張先への持ち運びにおけるわずらわしさが軽減します。

また、Bluetooth通信によりスマートフォンアプリで測定データを管理できるため、お手持ちのスマートフォンを血圧管理手帳代わりにも利用することができます。

モバイル医療アプリ「A&D Medical CONNECT」

【ホースレス上腕式血圧計「UA-1200BLE」】
●ホースレス
・「高血圧治療ガイドライン2019」で推奨されている上腕式でありながら、持ち運びできるデザインを実現
・旅行や出張先への持ち運びにも便利。海外出張でも安心なUSB充電式で、電池の交換は不要
●簡単・正確測定
・カフに腕を通して装着し、ボタンを押すだけで測定開始
・正確測定のための不規則脈波（IHB）検知機能を実装
・測定中の体動やカフのゆる巻きを自動検出し、正確な測定をサポート

株主の皆様へ

To our shareholders

代表取締役
執行役員社長　森島　泰信

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに「第43期ビジネスレポート」をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度の当社グループを取り巻く経済環境は、日本においては、当初こそ企業業績や設備投資が堅調に推移したものの、2019年秋に相次いだ台風災害や同年10月からの消費増税にともなう景気の減速に加え、年明け以降は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大にともなう経済活動の縮小が見られました。海外においては、従来から見られた米中貿易摩擦の影響により需要が減退していたところに加えて、年明け以降は当社グループが所在する各国においても新型コロナウイルス感染症の感染拡大にともない、事業活動の停止あるいは縮小を余儀なくされました。このような状況の中、当社グループは、新製品開発、新規市場の開拓に注力し、お客様や社会における多様なニーズやその変化に対応してまいりました。また、引き続き成長分野に対する積極的な投資を行うことで、他社との差別化を図ってまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は49,197百万円（前連結会計年度比1.8%増）、営業利益は3,700百万円（同34.5%増）、経常利益は3,432百万円（同27.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,576百万円（同17.0%減）となりました。

以上の業績結果を踏まえ、株主の皆様への年間配当金は、前期から3円増配の1株当たり20円（中間配当10円、期末配当10円）といたしました。

今後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による世界経済全体への影響は避けられません。

当社グループにおいても、日本のようにテレワーク等の手段を活用しながらある程度事業活動が継続できている国のほかに、事業活動の一部（医療機器である血圧計の販売等）のみが限定的に認められている国、外出自体が制限され事業活動が事実上不可能となっている国等、グループの各法人が所在する国や地域における制約が多岐にわたっています。かつ、感染状況の鎮静化や各国政府等による事業活動に係る制限の緩和の時期や程度についての見通しも困難なことから、2021年3月期の業績予想の開示は差し控えさせていただきます。引き続き状況の確認・整理を行い、一定の見通しがたった段階で業績予想を開示する予定です。

また、2019年5月10日に公表いたしました、2022年3月期を最終年度とする中期経営計画に関しても、上記の状況を踏まえて数値目標を再検討することといたしました。基本方針には大きな変更はありませんが、数値の算定が可能となった状態で新中期経営計画を公表する予定です。

なお、今後も引き続き更なる技術研鑽と新規市場の開拓、新規顧客の獲得に尽力してまいります。試験機やシステム品等の製品の標準化や海外生産の強化によって、一層の原価低減に取り組むとともに、より効果的な研究開発投資の推進や、販売費および一般管理費の効率的な活用に努め、グループを挙げて業績の維持・向上に邁進してまいります。

計測・計量機器事業

- ●DSPシステムでは、効率的な製造・販売体制の構築に継続して取り組む
  - →グループの総合力を生かしたサポートおよびサービスの体制を強化
  - →ユーザーとのコミュニケーションをより緊密にしニーズを把握
- ●計量器では、高付加価値製品の開発を推進し、グローバルなリソースの集約でシェア拡大を目指す
- ●電子ビーム関連事業では、子会社である株式会社ホロンと当社のシナジー効果により半導体市場での業績拡大を目指す

医療・健康機器事業

- ●医療用の計量器や血圧計、家庭向け健康機器では、グローバルな視点でニーズの把握と対応を進め、健康管理サービスと連携した製品を引き続き提案・拡充
- ●健康機器では、品質と生産性の向上により、世界における一層の競争力強化を図る

株主の皆様には、今後とも格別のご理解と変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト（連結）

Financial highlights

売上高　単位：百万円

経常利益　単位：百万円

親会社株主に帰属する当期純利益　単位：百万円

1株当たり純資産　単位：円

1株当たり当期純利益　単位：円

自己資本比率　単位：%

営業の概況

Result of business

医療・健康機器事業 37.5%

医療機器 6.8 %

売上高　単位：百万円

国内は医科向け計量機器が、海外はロシアの自動血圧計を中心に売上が伸長

健康機器 30.7 %

売上高　単位：百万円

海外でロシアおよび米国、カナダを中心に売上は好調に推移するも、海外現地法人の在庫調整のため売上微減

半導体関連 11.3 %

売上高　単位：百万円

半導体機器関連の売上が大幅増

計測・計量機器事業 62.5%

計測機器 6.3 %

売上高　単位：百万円

国内の特注試験機が好調だったが、前年の韓国での試験機の特需が一段落したことから売上が減少

計量機器 33.0 %

売上高　単位：百万円

国内は、ウェイトチェッカやX線検査機が売上伸長。海外は、前年同期の豪州での金属検出機・ウェイトチェッカの特需が一段落したことと、海外現地法人の在庫調整のため売上減

DSP事業 11.9 %

売上高　単位：百万円

パワートレインベンチ等好調な品目があった一方で全般的に苦戦し、売上は減少

連結財務データ

Consolidated financial data

財務状況

単位:百万円

キャッシュ・フローの状況

単位:百万円

会社概要（2020年3月31日現在）

■所　在　地　東京都豊島区東池袋三丁目23番14号
■設　　立　1977（昭和52）年5月6日
■株式の状況　発行可能株式総数　40,000,000株
発行済株式の総数　22,579,700株
株　主　数　4,944名

大株主の状況（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
日本トラスティ・サービス信託銀行㈱（信託口）	1,839千株	8.78%
日本マスタートラスト信託銀行㈱（信託口）	1,255	5.99
エー・アンド・デイ従業員持株会	1,176	5.61
MLI FOR CLIENT GENERAL OMNI NON COLLATERAL NON TREATY-PB	1,128	5.38
㈱埼玉りそな銀行	606	2.89
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	590	2.82
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OMO2 505002	500	2.39
㈱足利銀行	490	2.34
日本トラスティ・サービス信託銀行㈱（信託口5）	369	1.76
古川　哲	350	1.67

（注）1. 当社は、提出会社名義の自己株式を1,615,960株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。なお、自己株式には株式給付信託（BBT）の導入に際して設定した資産管理サービス信託銀行株式会社（信託E口）が所有する当社株式335,400株を含んでおりません。
2. 持株比率は発行済株式総数から自己株式を控除して計算しております。

■従　業　員　716名
■資　本　金　6,388,671,700円

重要な子会社の状況

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
研精工業株式会社	81,800千円	100.0%	電子天秤及び医療機器の製造
リトラ株式会社	200,000千円	100.0%	インジケータ、ロードセル、電子式台秤及び選別・仕分け機器の製造
株式会社オリエンテック	268,640千円	100.0%	計測機器の製造
株式会社サム電子機械	330,000千円	100.0%	各種試験装置の製造、販売
株式会社ベスト測器	20,000千円	100.0%	環境計測機器の開発、製造、販売
株式会社ホロン	692,361千円	51.0%	半導体電子ビーム測定検査装置の開発、製造、販売
株式会社MBS	200,000千円	100.0%	自動車計測に関するエンジニアリングサービスの提供
A&D ENGINEERING, INC.	200千米ドル	100.0%	当社製品の販売（米国）
愛安德電子（深圳）有限公司	45,000千香港ドル	100.0%	電子血圧計及び計量機器の製造
A&D RUS CO., LTD.	505,247千露ルーブル	100.0%	当社製品の販売（ロシア）

ホームページのご案内

当社ホームページでは、IR情報や技術情報、会社情報等充実した内容となっております。
今後も株主の皆様に向けて当社の情報を提供してまいりますので、どうぞご覧ください。

https://www.aandd.co.jp/

株主メモ

事業年度　4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会　6月下旬
株主確定基準日　3月31日
その他必要があるときは、予め公告いたします。
単元株式数　100株
公告方法　電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
公告掲載URL　https://www.aandd.co.jp/
株主名簿管理人　東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所　東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
本店証券代行部

＜郵便物送付先・お問い合わせ先＞

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行　証券代行部
電話お問い合わせ先		0120-288-324（フリーダイヤル）
お取扱店		みずほ信託銀行　全国本支店 みずほ証券　全国本支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行及びみずほ銀行の全国本支店	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取・買増以外の株式売買はできません。

株式会社エー・アンド・デイ
〒170-0013 東京都豊島区東池袋三丁目23番14号
https://www.aandd.co.jp/

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。